

入学式

桜の下、笑顔満開

初の男子生徒 72人

京都西山高、共学スタート

本年度から男女共学となった京都西山高(向日市寺戸町)で7日、男子生徒72人を含む新入生282人の入学式が開かれた。

1927年に西山高等女学校として設立された同高は、少子化の現状を踏まえて共学化に踏み切った。男子の受け入れに向けて設備を改修し、制服もカジュアルに一新。スポーツ推薦の生徒を受け入れる強化クラブとして男子のサッカー部とバスケ部を創設した。

体育館で行われた入学式では、真新しいブレザーに身を包んだ新入生が保護者らの拍手を受けて入場した。新入生を代表して岩野智さん(15)が同市寺戸町で森川弘仁校長から聖典と念珠を受け取り、吉村光風子さん(15)が南丹市で宣誓を行った。

森川校長は「自分のまわり全ての人に感謝する心を大切にしてほしい。共学化で新たな学校の歴史をみなさんとつくりたい」と呼び掛けた。

男子サッカー部に入る岩野さんは式典後、「男子1期生として不安はあったが、目標とする府大会ベスト8に向け、失敗を恐れず挑戦するチームをつくりたい」と話していた。(古市大)



新入生を代表して聖典と念珠を受け取る岩野さん(向日市寺戸町・京都西山高)